

電子申請等の利用に係る事業主に対する意向調査結果について

平成18年11月9日  
社会保険庁

社会保険庁では、各企業の事業主が届出を行う健康保険、厚生年金保険の各種手続について、平成8年度から『磁気媒体届書作成プログラム』を利用した届出を可能としてきました。さらに、平成15年度からは「電子申請」による届出を、社会保険関係246手続中の244手続で可能（うち6手続については磁気媒体届書作成プログラムを利用して作成した申請データを電子申請することも可能）とするなど、企業側の利便性の向上、事務の効率化のための取組を進めてきました。

また、本年3月には政府として「オンライン利用促進行動計画」を定め、社会保険関係手続では年間申請件数が10万件以上の37手続を利用促進対象手続とするなど、政府一体として企業や国民にとって更なる利便性の向上や事務の効率化等を主な目的とした利用促進の取組を進めているところです。

このような中、当庁における今後の施策の参考とするため、首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県及び千葉県）に所在する企業の事業主に対して、『磁気媒体届書作成プログラム』を利用した届出及び電子申請による届出についての認識や今後の利用意向等に係る意識調査を行いました。

■調査方法及び集計方法

今般の調査に際しては、平成17年12月現在で健康保険・厚生年金保険の適用事業所となっている東京都、神奈川県、埼玉県及び千葉県に所在する企業（4都県13社会保険事務所毎、事業所規模別の無作為抽出）6,043社に対して、アンケート調査票を郵送し実施した。

調査対象を抽出した社会保険事務所	
(埼玉) 浦和、川越、春日部	(千葉) 千葉、船橋、幕張、松戸
(東京) 新宿、品川、墨田	(神奈川) 横浜中、高津、藤沢

1. 事業所規模別

雇用している従業員の人数に応じて以下の5分類に分けた集計を行った。

- ①事業所規模1・・・従業員が5人未満の事業所
- ②事業所規模2・・・従業員が5人以上10人未満の事業所
- ③事業所規模3・・・従業員が10人以上50人未満の事業所
- ④事業所規模4・・・従業員が50人以上300人未満の事業所
- ⑤事業所規模5・・・従業員が300人以上の事業所

2. 抽出事業所数

調査対象事業所は、従業員数に応じた以下の5区分とし、概ね1社会保険事務所当たりの各区分の抽出事業所数は以下のとおりとした。

- ①5人未満・・・・・・・・・・35事業所
- ②5～10人未満・・・・・・・・20事業所
- ③10～50人未満・・・・・・25事業所
- ④50～300人未満・・・・・・20事業所
- ⑤300人以上・・・・・・・・・・20事業所

## ■調査期間

平成18年2月24日に調査票を送付し、本年5月31日到着分までを集計対象とした。

## ■回答状況

調査票を送付した6,043社のうち、2,163社(35.8%)から回答があり、回答不備などを除いた有効回答数は、2,096社(34.7%)であった。

なお、事業所規模別の回答状況は以下のとおり。

### ◎事業所規模別の回答状況

	送付件数	有効回答数	有効回答率
事業所規模1	1,256	261	20.8%
事業所規模2	1,194	313	26.2%
事業所規模3	1,197	447	37.3%
事業所規模4	1,267	588	46.4%
事業所規模5	1,129	487	43.1%
計	6,043	2,096	34.7%

## 【参考】

### 《磁気媒体届書作成プログラムとは》

紙様式による届出に代わり、磁気媒体〔FD（フロッピーディスク）・MO（光磁気ディスク）〕による届出を可能とするために作成されたプログラムのこと。このプログラムにより作成されたデータは、電子申請の際、電子申請用ファイルとして添付することも可能である。

### 《磁気媒体届書作成プログラムで申請可能な手続》

健康保険、厚生年金保険の手続のうち、事業主が大量・定期的に行う以下の6手続

- a. 健康保険・厚生年金保険の資格取得届
- b. 健康保険・厚生年金保険の資格喪失届
- c. 健康保険・厚生年金保険の算定基礎届
- d. 健康保険・厚生年金保険の賞与支払届
- e. 健康保険・厚生年金保険の月額変更届
- f. 厚生年金保険の住所変更届

### 《磁気媒体届書作成プログラムの入手方法等》

- 社会保険庁HPから、いつでもダウンロード可能（無料）
- ダウンロードしたプログラムをそのまま利用できるほか、企業の人事・給与システムのデータをもとに自社開発を可能とするため、仕様書や仕様チェックを行うプログラムを公開
- プログラムのインストールや利用方法など、技術的に不明な点があればヘルプデスクで照会対応

## ■アンケート調査結果の概要

### 1. 磁気媒体届書作成プログラムについて

『磁気媒体届書作成プログラム』については、平成8年度の開始から既に10年経過しており、認知している事業所の割合は全体の約73%となっており、広く認知された状況となっている。特に、事業所規模5の大規模事業所では約95%が認知している状況であった。しかし、『磁気媒体届書作成プログラム』を利用している事業所は、認知している事業所のうちの約47%にとどまった。

また、手続ごとの利用状況については、利用可能である適用関係6手続のうち、「賞与支払届」(約45%)、「算定基礎届」(約37%)、「月額変更届」(約24%)についてはある程度の実績を上げているものの、それ以外の3手続については低調であった。

一方、『磁気媒体届書作成プログラム』を認知していなかった事業所については、「今後利用する」との回答が約42%を占めた。

『磁気媒体届書作成プログラム』を利用していない理由としては、従来からの「紙による届出の方が便利である」との回答が約31%と最も多く、次に「社会保険労務士に委託」が約23%であった。

この他、事業所規模1の小規模事業所では「パソコンを使用していない」との回答が約30%と多く、また、事業所規模4、5の大規模事業所では「加入している健康保険組合、厚生年金基金が磁気媒体による届書に対応していない」との回答が25%程度と多かった。

現状の『磁気媒体届書作成プログラム』について改善を要する事項としては、「特になし」との回答が約40%を占めたが、次いで「わかりやすい操作説明冊子の配付」との回答が約29%と多かった。

この他、事業所規模5の大規模事業所では「プログラムを使いやすくしてほしい」との回答が約14%と多く、また、事業所規模4、5の大規模事業所では「HPでの操作説明をわかりやすく」との回答が12%程度と多かった。

### 2. 電子申請について

『磁気媒体届書作成プログラム』を利用して作成した電子データを電子申請できることについて認知している割合は、全体の約45%となっており、約半数に達しているが、その利用状況は約1%と極めて低調となっている。

今後の電子申請の利用について、約半数の事業所は利用に前向きであるものの、残りの半数は利用に消極的な回答であった。

利用に消極的な理由としては、「セキュリティに不安がある」(約50%)が特に多く、セキュリティ対策が事業所の重大な関心事項であることを示す結果となった。

この他、「窓口持参・郵送に不便を感じない」(約41%)、「添付書類を別途郵送する必要がある」(約31%)、「電子証明書の取得などの準備に手間・費用がかかる」(約25%)等の回答が多かった。

### 3. 今後の検討課題（行動計画への反映）

電子申請の利用促進にあたっては、政府として策定した「オンライン利用促進行動計画」(平成18年度から平成20年度までの3カ年計画)に基づき、各種施策を実施しているところであるが、今般の調査結果を踏まえ、今後、さらなる周知・広報の充実や効果的な利用促進策の実施に向けた検討が必要である。

## (1) 周知・広報の充実

電子申請に必要なプログラムの入手からデータ作成、申請及び電子公文書の取得までの申請手続きの一連の流れについて、社会保険庁ホームページ等を活用したよりわかりやすい掲載方法について検討するほか、以下の事項を中心に周知・広報に取り組むことが必要である。

### ①電子申請の効果について

電子申請は、利便性の向上はもとより事務の効率化、経費節減など、企業側、行政側双方にとって大きな効果が得られるものであること。

### ②セキュリティ対策について

申請データは暗号化されるとともに、電子証明書を添付することにより実在しない会社や人物になりすます行為やデータの改ざん等、第三者による不正行為を防止していること及び申請データを受け付ける役所側のシステムについてセキュリティ上の対策を講じていること。

### ③磁気媒体届書作成プログラムを利用した電子申請について

『磁気媒体届書作成プログラム』で作成した申請データについても電子申請できること。

### ④磁気媒体届書作成プログラムについて

『磁気媒体届書作成プログラム』は、企業が既に人事・給与等システムで保有している従業員の氏名、生年月日、賃金などのデータを基に申請データを簡便に作成（編集）するためのプログラムであり、社会保険庁ホームページからいつでも無料で入手できること。

## (2) 効果的な利用促進施策の検討

これまで、資格取得届における年金手帳の添付省略、磁気媒体届書作成プログラムを利用した電子申請の場合に社会保険労務士の代行申請における事業主認証の追加（電子証明書に代えて、IDパスワードを使用可能）などの取組を行ってきたが、電子申請しやすい環境作りなど、より効果的な利用促進策についての検討を行い、行動計画に反映していくことが必要である。

■アンケート調査結果（詳細）

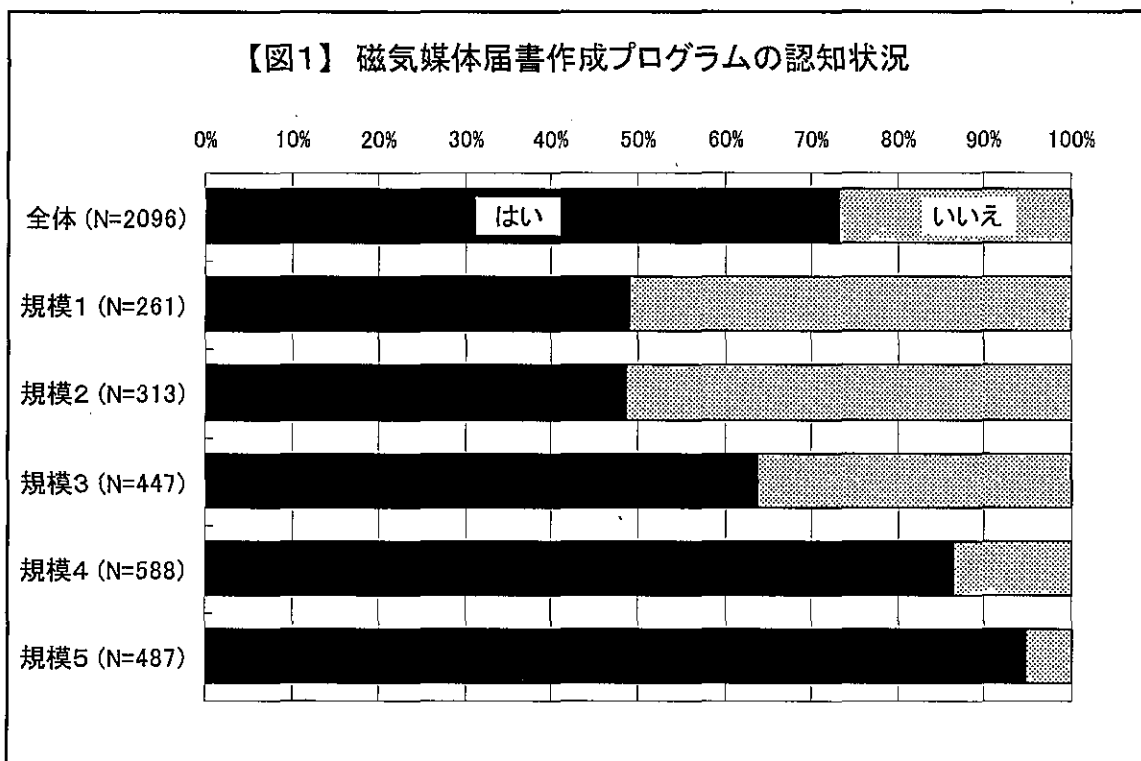
1. 『磁気媒体届書作成プログラム』の認知状況

設問 1. 社会保険の適用に係る手続のうち「資格取得届」「資格喪失届」「算定基礎届」「賞与支払届」「月額変更届」及び「住所変更届」について、『磁気媒体届書作成プログラム』を使って、FD又はMOなどの磁気媒体で作成及び提出ができることをご存じでしたか。

- ① はい →設問 2 へ
- ② いいえ →設問 3 へ

1. 社会保険の適用に係る6手続が、『磁気媒体届書作成プログラム』を利用して作成・提出できることについては、全体の約4分の3（73.2%）の事業所が、知っていると回答した。

2. 事業所規模別にみると、規模の大きい事業所ほど、『磁気媒体届書作成プログラム』を利用して作成・提出することが可能であることを知っているという回答した。



2. 『磁気媒体届書作成プログラム』によるデータ作成、提出の状況

設問2 (設問1で「知っている」と答えた事業所への質問)

『磁気媒体届書作成プログラム』による届書の作成及び提出を利用していますか。行っている場合、どの手続(a～fの適用関係6手続)に利用していますか。

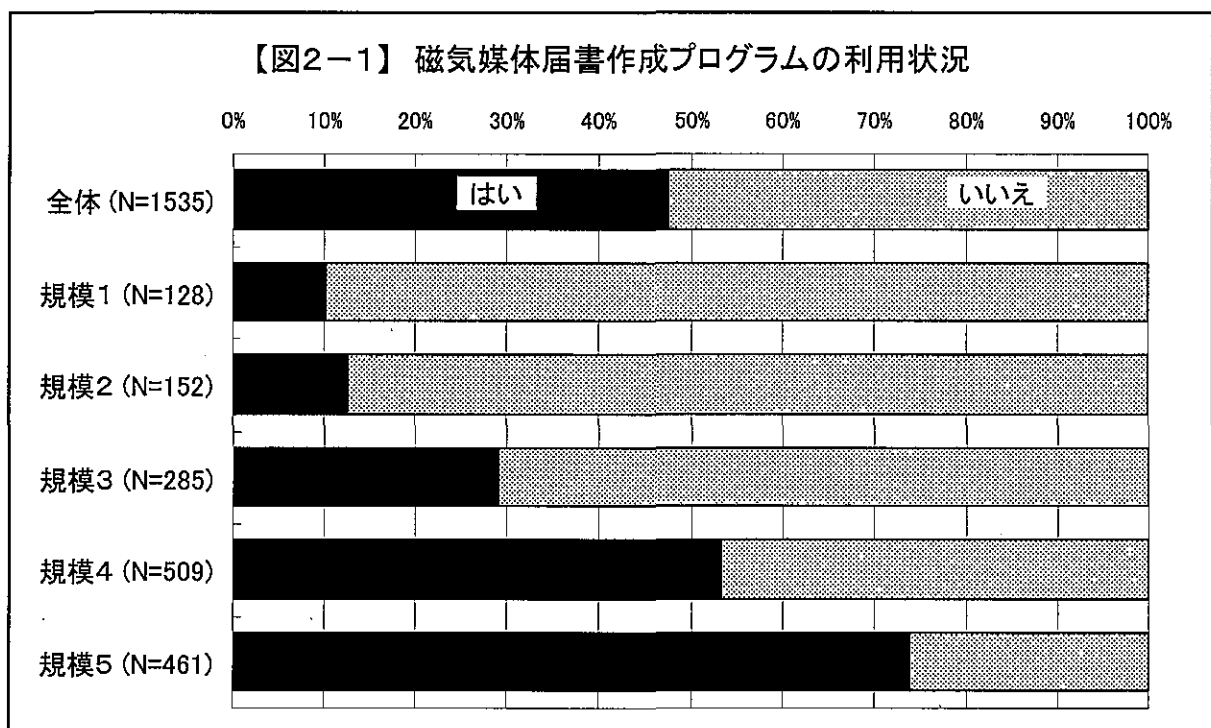
① はい →設問5へ

- a. 資格取得届
- b. 資格喪失届
- c. 算定基礎届
- d. 賞与支払届
- e. 月額変更届
- f. 住所変更届

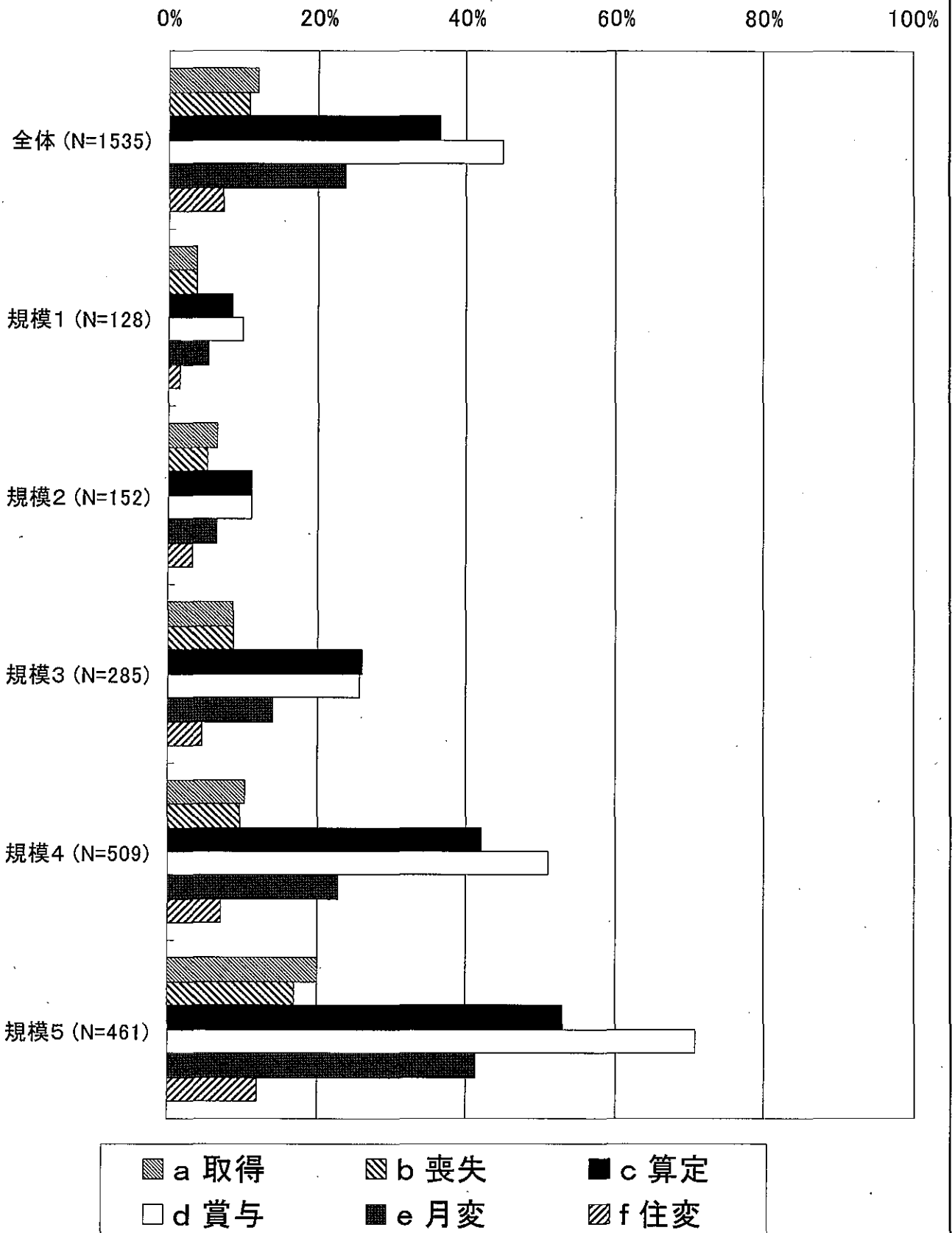
② いいえ →設問4へ

1. 適用関係6手続のうちいずれかの手続を行う際に『磁気媒体届書作成プログラム』を利用している事業所の割合は、当該プログラムによる届出の作成及び提出ができると知っている事業所のうちの約半数(47.4%)となった。
2. 事業所規模別にみると、規模の大きい事業所ほど、『磁気媒体届書作成プログラム』利用している事業所の割合が高くなっている。
3. 手続別の利用状況については、「賞与支払届」(44.9%)、「算定基礎届」(36.5%)、「月額変更届」(23.6%)となっており、1回当たりの届出件数が多い手続での利用が比較的高くなっているが、「資格取得届」や「資格喪失届」及び「住所変更届」については、事業所規模による大きな差異は見られなかった。

【図2-1】磁気媒体届書作成プログラムの利用状況



【図2-2】 磁気媒体届書作成プログラムの利用状況(手続別)



3. 『磁気媒体届書作成プログラム』によるデータ作成、提出の利用意向

設問3 (設問1で「知らなかった」と答えた事業所への質問)

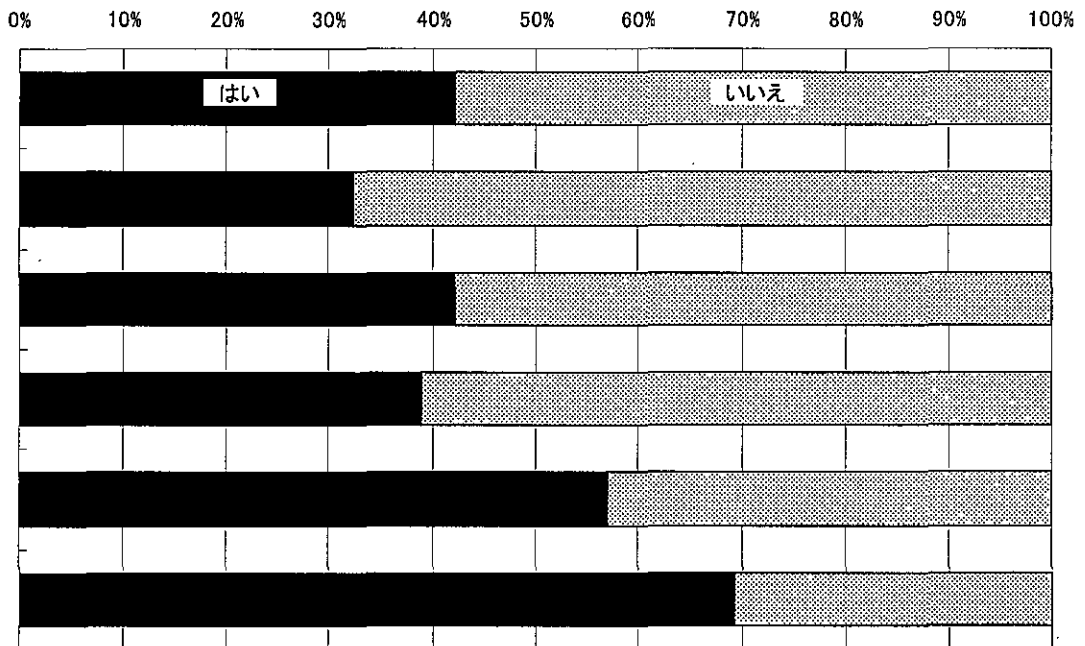
今後、『磁気媒体届書作成プログラム』による届書の作成及び提出を利用しますか。

- ① はい →設問6へ
- ② いいえ →設問4へ

1. 『磁気媒体届書作成プログラム』によるデータ作成・提出が可能であることを知らなかった事業所のうち、約4割(42.2%)は「利用する」と回答したものの、6割弱の事業所は「利用しない」との回答であった。

2. 事業所規模別にみると、事業所規模5では、約7割(69.2%)が「利用する」と回答しており、事業所規模が大きくなるほど「利用する」意向が強い傾向となっている。

【図3】 磁気媒体届書作成プログラムの利用意向





4. 『磁気媒体届書作成プログラム』を利用しない理由

設問4 (設問2及び設問3で「いいえ」と答えた事業所への質問)

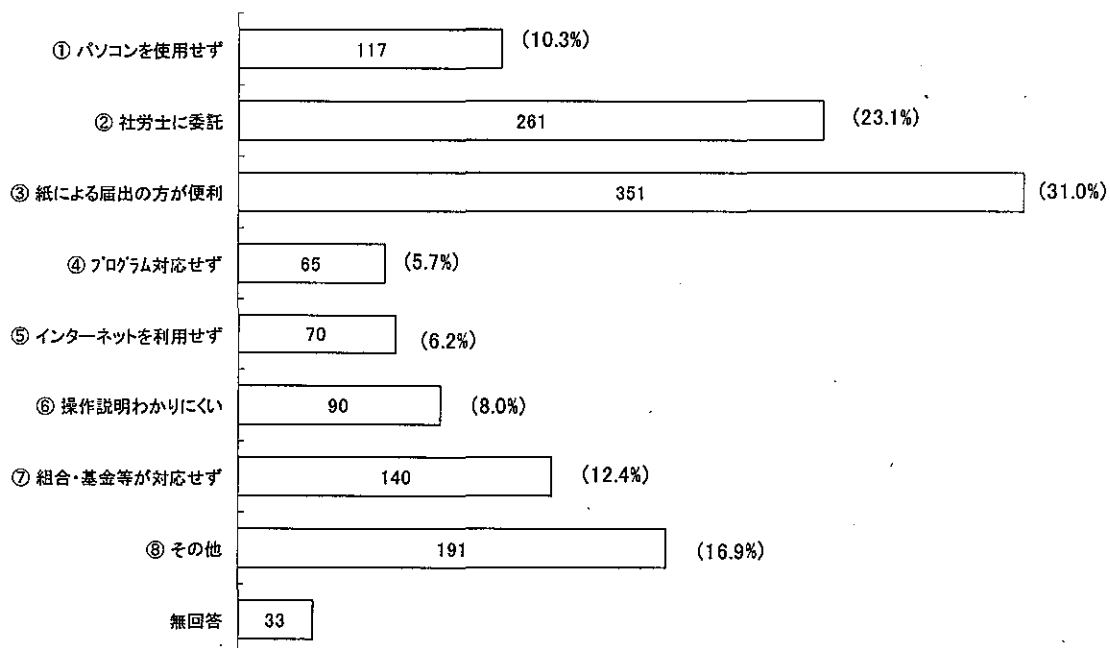
『磁気媒体届書作成プログラム』による届書の作成及び提出を利用しない理由は何ですか。〈複数選択可〉

- ① 業務を行ううえでパソコンを使用していない
- ② 届書の作成業務を社会保険労務士に委託している
- ③ パソコンは使用しているが、紙による届出の方が便利である
- ④ 使用している市販ソフト(会計、人事システムなど)又は独自システムに『磁気媒体届書作成プログラム』が対応していない
- ⑤ パソコンは使用しているが、インターネットを利用していないので『磁気媒体届書作成プログラム』を取得(ダウンロード)できない
- ⑥ 社会保険庁ホームページでの『磁気媒体届書作成プログラム』の操作説明案内等がわかりにくい
- ⑦ 加入している健康保険組合や厚生年金基金が磁気媒体による届書に対応していない
- ⑧ その他 ( )

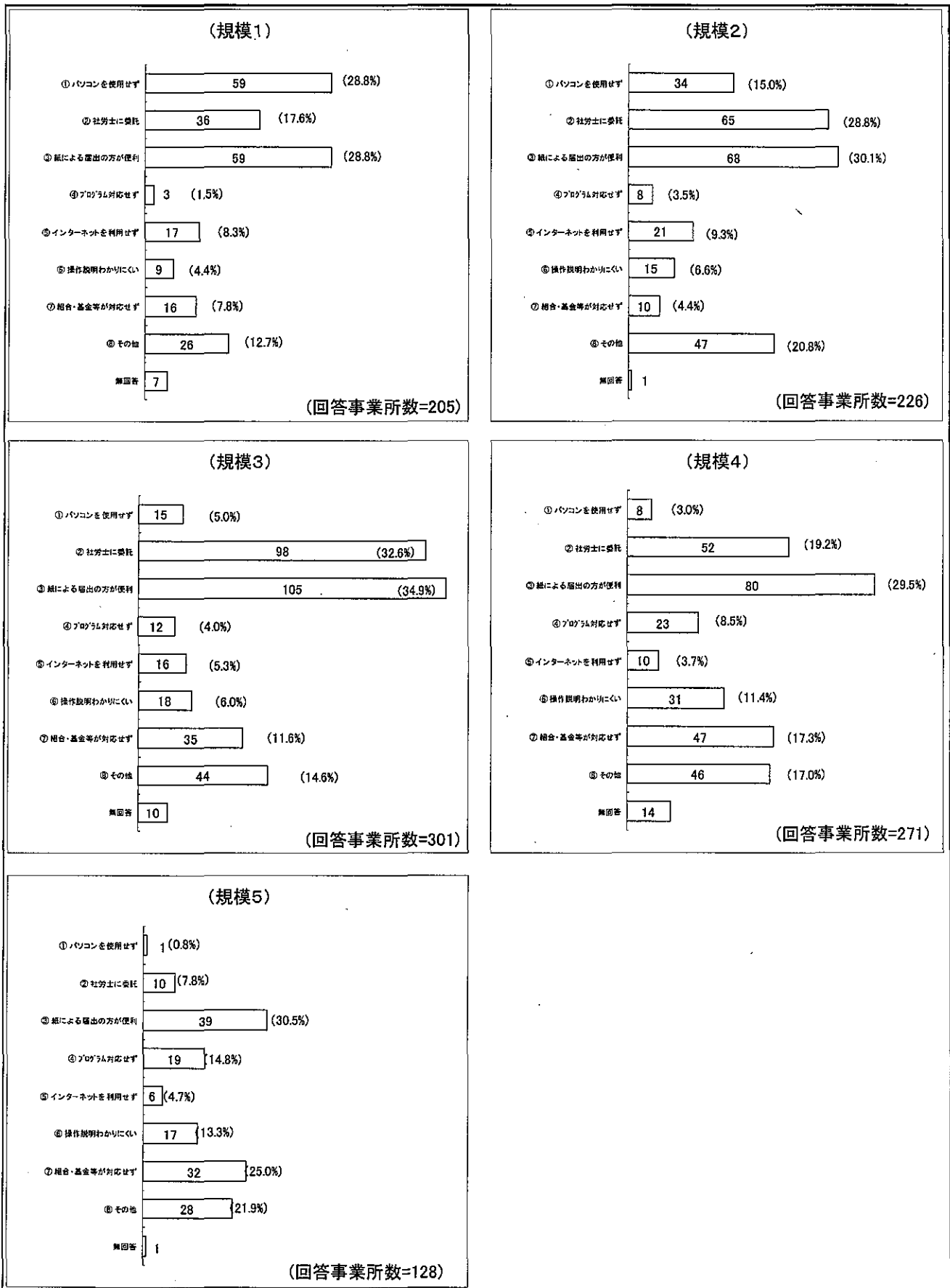
1. 『磁気媒体届書作成プログラム』を利用していない理由については、「紙による届出の方が便利」(31.0%)、「社会保険労務士に委託」(23.1%)が上位を占めている一方、当該プログラムを利用するに当たって必須となる「パソコンを使用していない」(10.3%)、「インターネットを利用していない」(6.2%)など、利用環境が整備されていないとの回答が合わせて16.5%となった。

2. 事業所規模別にみると、全規模を通じて「紙による届出の方が便利」との回答が多かったが、この他、事業所規模1では「パソコンを使用していない」、事業所規模2～4では「社会保険労務士に委託」、事業所規模4、5では「加入する健保組合・厚年基金が対応していない」との回答が多かった。

【図4-1】磁気媒体届書作成プログラムを利用しない理由【複数回答】



【図4-2】 磁気媒体届書作成プログラムを利用しない理由



5. 『磁気媒体届書作成プログラム』の要改善点

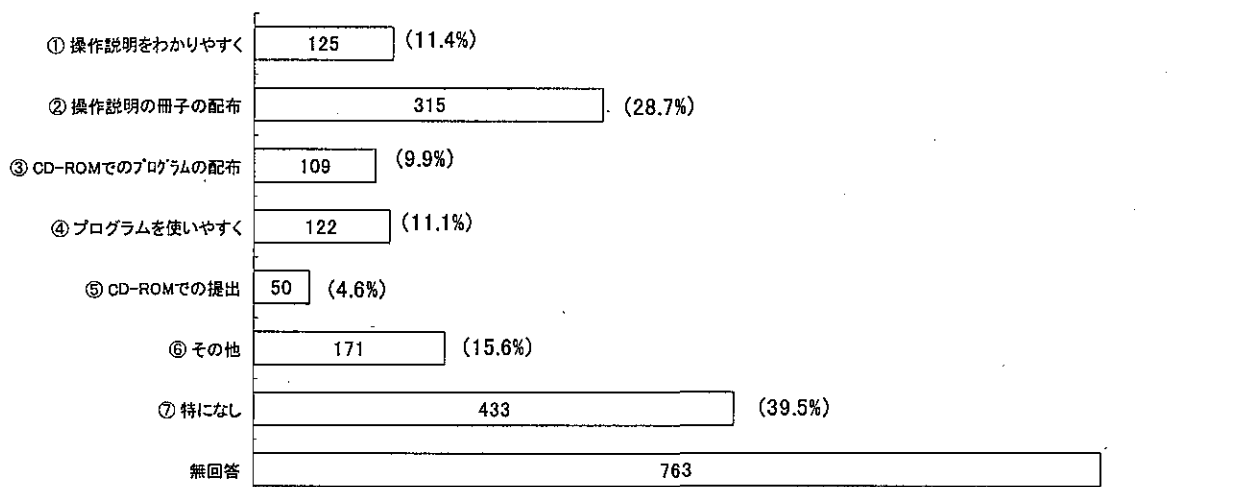
設問5 『磁気媒体届書作成プログラム』を利用したことがある場合は、改善してほしい点を、利用したことがない場合は、どの部分が改善されれば利用したいと思いませんか。〈複数選択可〉

- ① 社会保険庁ホームページでの操作説明案内をもっとわかりやすくしてほしい
- ② わかりやすい操作説明の冊子を配布してほしい
- ③ 『磁気媒体届書作成プログラム』をCD-ROMで配布してほしい
- ④ 『磁気媒体届書作成プログラム』を使いやすくしてほしい  
(具体的に：)
- ⑤ FD、MO以外にCD-ROMでも提出できるようにしてほしい
- ⑥ その他 ( )
- ⑦ 特になし

1. 『磁気媒体届書作成プログラム』について、改善を要する点は「特になし」との回答が約4割(39.5%)を占める一方、「ホームページでの操作説明案内をもっとわかりやすく」と「わかりやすい操作説明の冊子を配付してほしい」との回答が合わせて約4割(40.1%)となった。

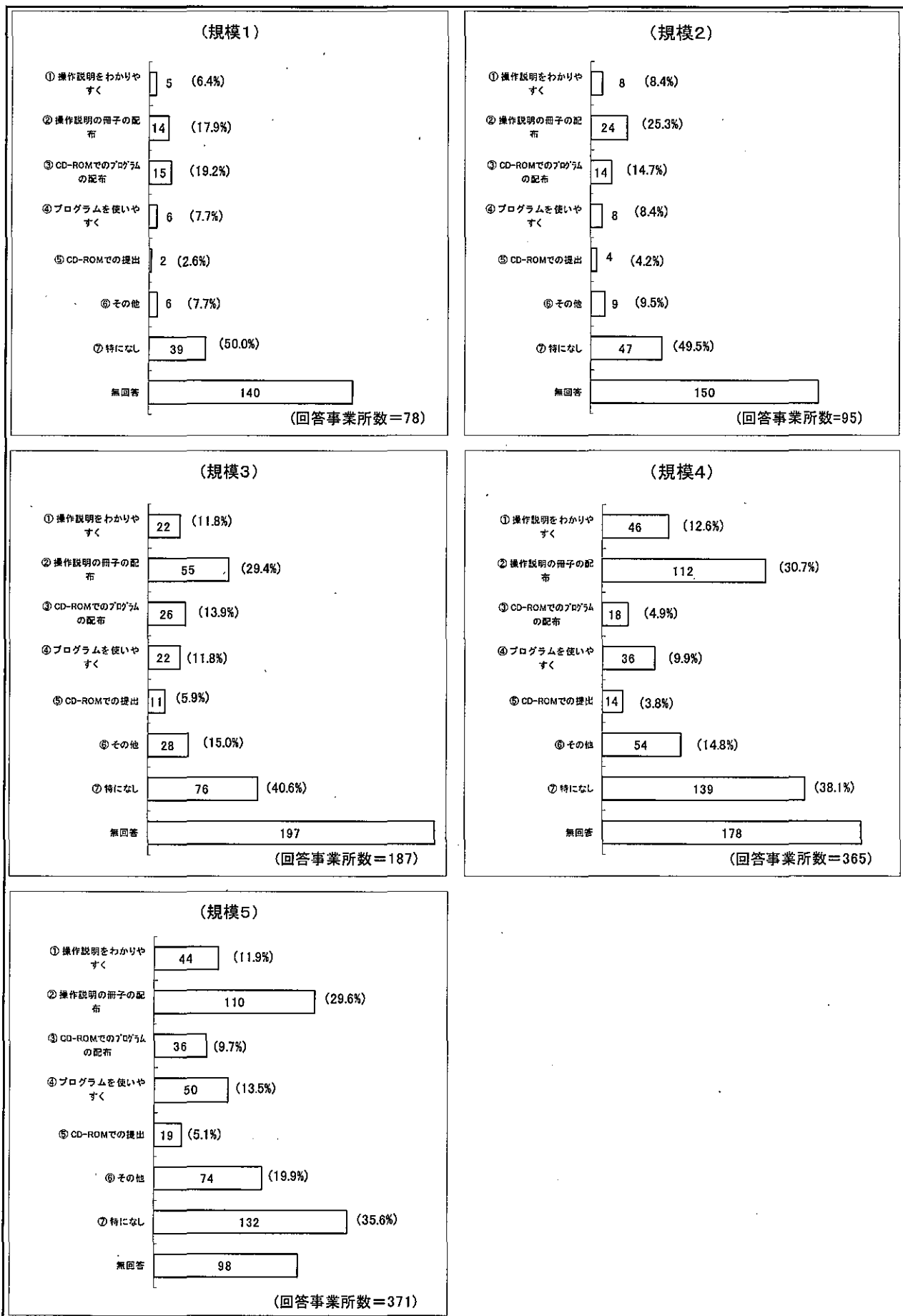
2. 事業所規模別にみても、「特になし」が一番多いものの、事業所規模に関わらず、操作説明案内(ホームページ、冊子の配布)の充実を望んでいる事業所が多かった。

【図5-1】磁気媒体届書作成プログラムに対する要望【複数回答】



(回答事業所数=1,096)

【図5-2】 磁気媒体届書作成プログラムに対する要望



6. 『磁気媒体届書作成プログラム』で作成したデータによる電子申請の認知状況

設問6 磁気媒体での提出用のデータをFD、MO以外にインターネット（電子申請）で提出できることをご存じでしたか。また、ご存じの場合は利用したことがありますか。

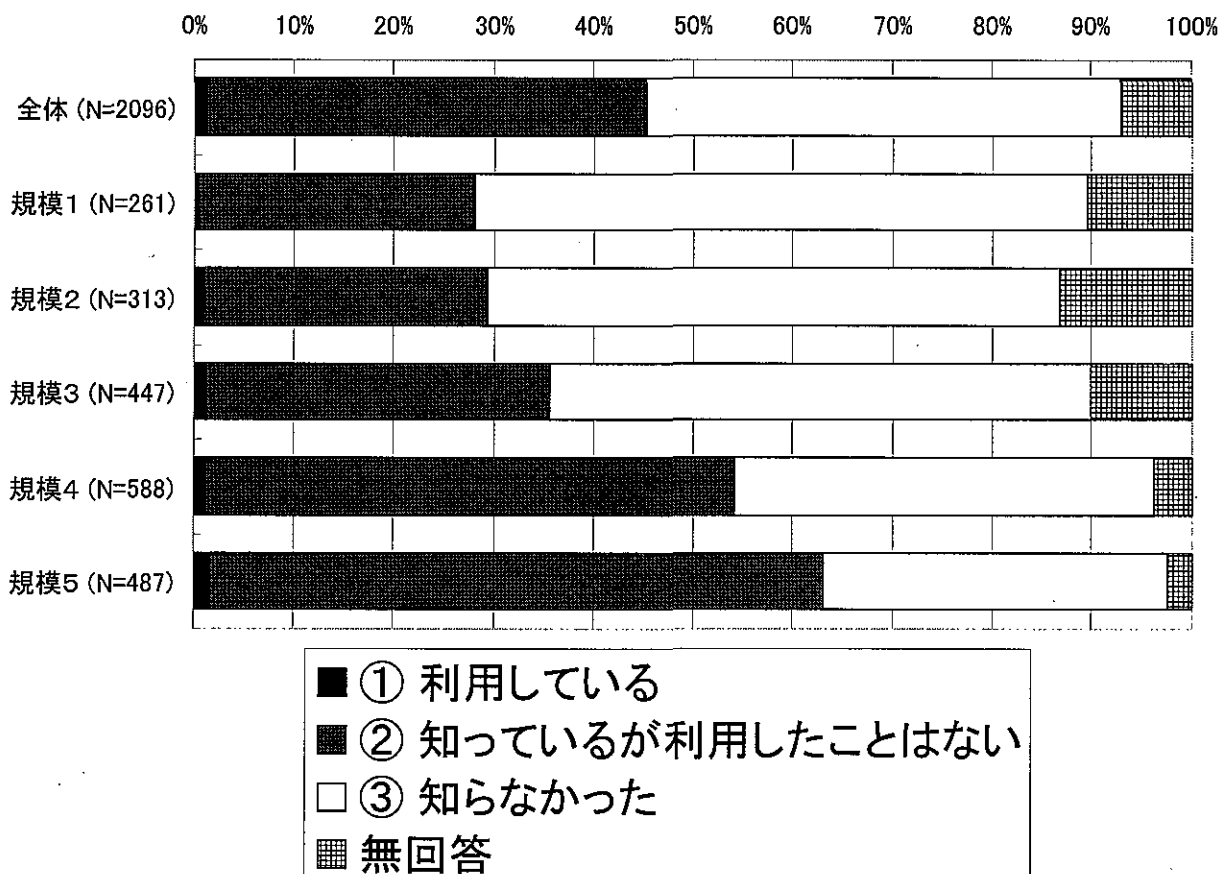
- ① 利用している
- ② 知っているが利用したことはない
- ③ 知らなかった

1. 電子申請について、「利用している」、「知っているが利用したことはない」を合わせた「認知している」との回答は、全体の約半数（45.3%）であったが、そのうち「利用している」と回答した事業所はわずか1.1%にとどまった。

2. 事業所規模別にみると、全規模を通じて「利用している」と回答した割合は極めて低い状況であった。

また、事業所規模4、5の事業所では「利用している」、「知っているが利用したことはない」を合わせ、認知していると回答した事業所が6割前後を占めたが、事業所規模1、2の事業所では約3割にとどまった。

【図6】 磁気媒体での申請データを利用したの電子申請が可能であることの認知状況



7. 『磁気媒体届書作成プログラム』で作成したデータの電子申請の利用意向

設問7 今後、『磁気媒体届書作成プログラム』で作成したデータで届出を提出するとしたら、インターネット（電子申請）を利用したいと思いませんか。

- ① 利用したい
- ② どちらかといえば利用したい
- ③ どちらかといえば利用したくない
- ④ 利用したくない

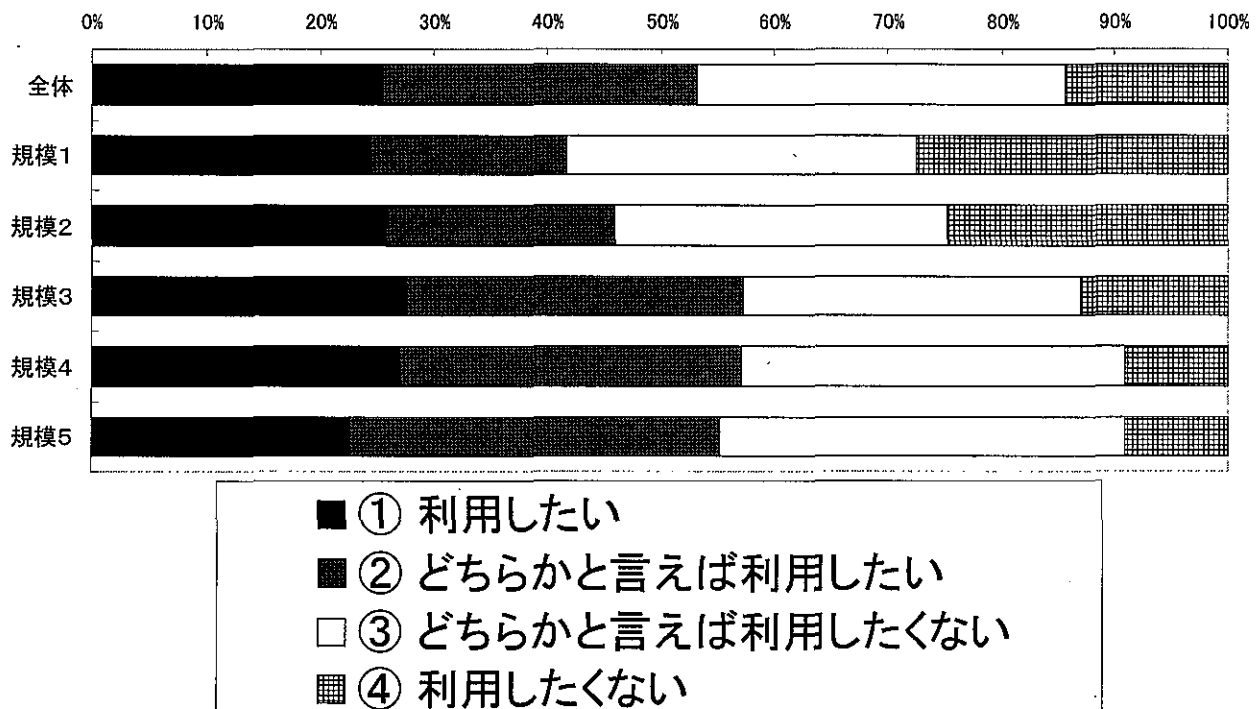
設問9へ

設問8へ

1. 電子申請について、「利用したい」、「どちらかといえば利用したい」と回答した事業所と、「どちらかといえば利用したくない」、「利用したくない」と回答をした事業所が拮抗している。

2. 事業所規模別にみると、事業所規模3～5の事業所については、6割弱が「利用したい」、「どちらかといえば利用したい」と回答をしているが、事業所規模1、2の事業所については4割程度となっている。

【図7】 磁気媒体届書作成プログラムで作成したデータを利用した電子申請の利用意向



## 8. 電子申請を利用したくない理由

設問8 (設問7で「どちらかといえば利用したくない」「利用したくない」と答えた方に) 利用したくない理由は何ですか。(複数選択可)

- ① 窓口への持参や郵送で不便を感じないから
- ② 電子証明書の取得などの準備に費用や手間がかかるから
- ③ 電子申請のプログラムがわかりにくいから
- ④ セキュリティに不安があるから
- ⑤ インターネットの環境が整っていないから
- ⑥ 添付書類を別途郵送する必要があるから
- ⑦ その他(具体的に: )

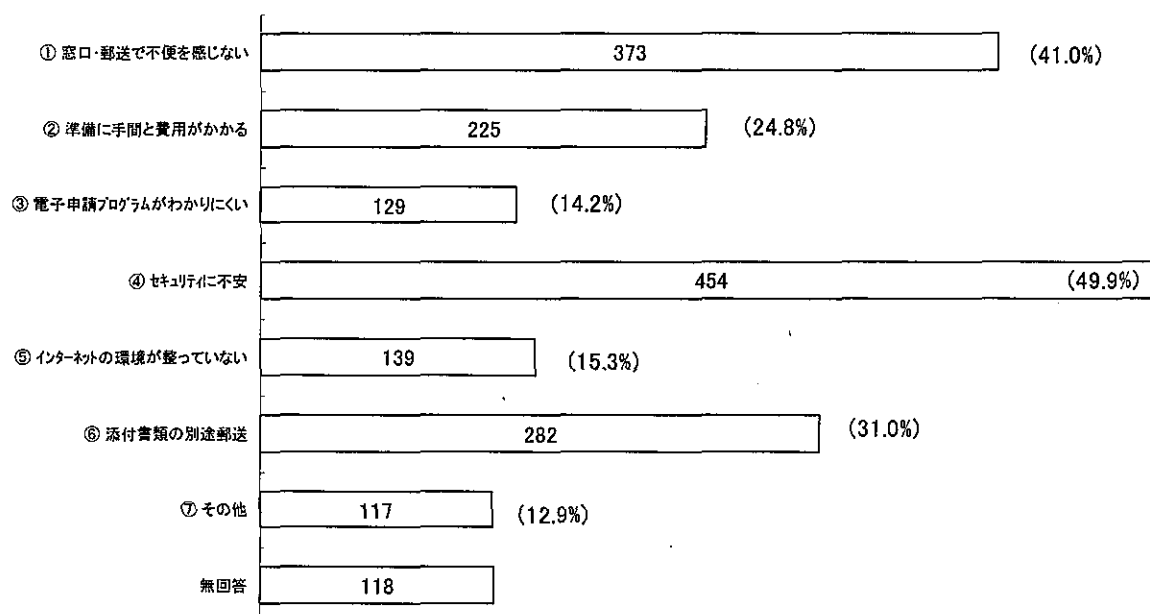
1. 電子申請の利用に消極的な回答をした理由として、「セキュリティに不安がある」と回答した事業所が約5割となっており、次いで「窓口持参・郵送に不便を感じない」、「添付書類の郵送」、「電子証明書の取得等の準備」の順となっている。

2. 事業所規模別にみると、全規模を通じて「セキュリティに不安がある」の割合が特に高く、その傾向は規模が大きくなるほど顕著である。

また、「窓口持参・郵送に不便を感じない」の割合も全規模を通じて高くなっているが、その傾向は規模が小さくなるほど顕著となる。

その他、事業所規模4、5では「添付書類の郵送」が約4割となっている。

【図8-1】 磁気媒体届書作成プログラムで作成したデータを利用した電子申請を利用しない理由【複数回答】



(回答事業所数=909)

【図8-2】 磁気媒体届書作成プログラムで作成したデータを利用した電子申請を利用しない理由





■実数データ表(表1～表8)

※表1～表8は、各々設問1～設問8にリンクしている。

表1 磁気媒体届書作成プログラムの認知状況

単位: 件数(構成比<%)>

	全体	規模1	規模2	規模3	規模4	規模5
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
①はい	1,535 (73.2)	128 (49.0)	152 (48.6)	285 (63.8)	509 (86.6)	461 (94.7)
②いいえ	561 (26.8)	133 (51.0)	161 (51.4)	162 (36.2)	79 (13.4)	26 (5.3)
計	2,096	261	313	447	588	487

表2 磁気媒体届書作成プログラムの利用状況

単位: 件数(構成比<%)>

	全体	規模1	規模2	規模3	規模4	規模5
	①はい	728 (47.4)	13 (10.2)	19 (12.5)	83 (29.1)	272 (53.4)
a 取得	185 (12.1)	5 (3.9)	10 (6.6)	25 (8.8)	53 (10.4)	92 (20.0)
b 喪失	166 (10.8)	5 (3.9)	8 (5.3)	25 (8.8)	50 (9.8)	78 (16.9)
c 算定	560 (36.5)	11 (8.6)	17 (11.2)	74 (26.0)	214 (42.0)	244 (52.9)
d 賞与	689 (44.9)	13 (10.2)	17 (11.2)	73 (25.6)	260 (51.1)	326 (70.7)
e 月変	363 (23.6)	7 (5.5)	10 (6.6)	40 (14.0)	116 (22.8)	190 (41.2)
f 住変	112 (7.3)	2 (1.6)	5 (3.3)	13 (4.6)	37 (7.3)	55 (11.9)
②いいえ	807 (52.6)	115 (89.8)	133 (87.5)	202 (70.9)	237 (46.6)	120 (26.0)
計	1,535	128	152	285	509	461

表3 磁気媒体届書作成プログラムの利用意向

単位: 件数(構成比<%)>

	全体	規模1	規模2	規模3	規模4	規模5
	①はい	237 (42.2)	43 (32.3)	68 (42.2)	63 (38.9)	45 (57.0)
②いいえ	324 (57.8)	90 (67.7)	93 (57.8)	99 (61.1)	34 (43.0)	8 (30.8)
計	561	133	161	162	79	26

表4 磁気媒体届書作成プログラムを利用しない理由 【複数回答】

単位: 件数(構成比<%)>

回答事業所数	全体	規模1	規模2	規模3	規模4	規模5
	①	1,131	205	226	301	271
②	117 (10.3)	59 (28.8)	34 (15.0)	15 (5.0)	8 (3.0)	1 (0.8)
③	261 (23.1)	36 (17.6)	65 (28.8)	98 (32.6)	52 (19.2)	10 (7.8)
④	351 (31.0)	59 (28.8)	68 (30.1)	105 (34.9)	80 (29.5)	39 (30.5)
⑤	65 (5.7)	3 (1.5)	8 (3.5)	12 (4.0)	23 (8.5)	19 (14.8)
⑥	70 (6.2)	17 (8.3)	21 (9.3)	16 (5.3)	10 (3.7)	6 (4.7)
⑦	90 (8.0)	9 (4.4)	15 (6.6)	18 (6.0)	31 (11.4)	17 (13.3)
⑧	140 (12.4)	16 (7.8)	10 (4.4)	35 (11.6)	47 (17.3)	32 (25.0)
⑧	191 (16.9)	26 (12.7)	47 (20.8)	44 (14.6)	46 (17.0)	28 (21.9)
無回答	33	7	1	10	14	1

表5 磁気媒体届書作成プログラムに対する要望 【複数回答】

単位: 件数(構成比<%)>

回答事業所数	全体	規模1	規模2	規模3	規模4	規模5
	①	1,096	78	95	187	365
②	125 (11.4)	5 (6.4)	8 (8.4)	22 (11.8)	46 (12.6)	44 (11.9)
③	315 (28.7)	14 (17.9)	24 (25.3)	55 (29.4)	112 (30.7)	110 (29.6)
④	109 (9.9)	15 (19.2)	14 (14.7)	26 (13.9)	18 (4.9)	36 (9.7)
⑤	122 (11.1)	6 (7.7)	8 (8.4)	22 (11.8)	36 (9.9)	50 (13.5)
⑥	50 (4.6)	2 (2.6)	4 (4.2)	11 (5.9)	14 (3.8)	19 (5.1)
⑦	171 (15.6)	6 (7.7)	9 (9.5)	28 (15.0)	54 (14.8)	74 (19.9)
⑦	433 (39.5)	39 (50.0)	47 (49.5)	76 (40.6)	139 (38.1)	132 (35.6)
無回答	763	140	150	197	178	98

表6 磁気媒体での申請データを利用しての電子申請が可能であることの認知状況

単位:件数(構成比<%>)

	全体	規模1	規模2	規模3	規模4	規模5
①	24 (1.1)	1 (0.4)	3 (1.0)	5 (1.1)	7 (1.2)	8 (1.6)
②	926 (44.2)	72 (27.6)	89 (28.4)	154 (34.5)	312 (53.1)	299 (61.4)
③	999 (47.7)	161 (61.7)	180 (57.5)	243 (54.4)	247 (42.0)	168 (34.5)
無回答	147 (7.0)	27 (10.3)	41 (13.1)	45 (10.1)	22 (3.7)	12 (2.5)
計	2,096	261	313	447	588	487

表7 磁気媒体届書作成プログラムで作成したデータを利用した電子申請の利用意向

単位:件数(構成比<%>)

	全体	規模1	規模2	規模3	規模4	規模5
①	501 (25.5)	58 (24.5)	73 (25.8)	114 (27.5)	150 (26.9)	106 (22.5)
②	544 (27.7)	41 (17.3)	57 (20.1)	123 (29.7)	169 (30.3)	154 (32.7)
③	635 (32.3)	73 (30.8)	83 (29.3)	123 (29.7)	188 (33.7)	168 (35.7)
④	283 (14.4)	65 (27.4)	70 (24.7)	54 (13.0)	51 (9.1)	43 (9.1)
無回答	109	23	27	28	23	8
計	2,072	260	310	442	581	479
①+②	1,045 (53.2)	99 (41.8)	130 (45.9)	237 (57.2)	319 (57.2)	260 (55.2)
③+④	918 (46.8)	138 (58.2)	153 (54.1)	177 (42.8)	239 (42.8)	211 (44.8)

表8 磁気媒体届書作成プログラムで作成したデータを利用した電子申請を利用しない理由

【複数回答】

単位:件数(構成比<%>)

	全体	規模1	規模2	規模3	規模4	規模5
回答事業所数	909	135	148	176	240	210
①	373 (41.0)	77 (57.0)	75 (50.7)	74 (42.0)	91 (37.9)	56 (26.7)
②	225 (24.8)	37 (27.4)	28 (18.9)	43 (24.4)	59 (24.6)	58 (27.6)
③	129 (14.2)	18 (13.3)	20 (13.5)	29 (16.5)	31 (12.9)	31 (14.8)
④	454 (49.9)	51 (37.8)	70 (47.3)	83 (47.2)	129 (53.8)	121 (57.6)
⑤	139 (15.3)	31 (23.0)	35 (23.6)	26 (14.8)	21 (8.8)	26 (12.4)
⑥	282 (31.0)	20 (14.8)	23 (15.5)	45 (25.6)	106 (44.2)	88 (41.9)
⑦	117 (12.9)	18 (13.3)	17 (11.5)	19 (10.8)	27 (11.3)	36 (17.1)
無回答	118	26	32	29	22	9